

NNA メールマガジン【ウォンバット通信】(164号)インタビュー(11月6日)

★★★今月のゲスト★★★

◇お名前、貴社名、役職： 内藤 康司、外務省 在パース日本国総領事

◇出身地：東京都八王子

◇来豪歴：2022年10月8日、岸田総理のパース訪問の2週間前に赴任しました。2年前の赴任以前には来豪歴はありません。

◇マイブーム：盆踊り。パース盆踊りグループ「和盆連」にも所属。自然に飛び入り参加するオーギーの輪が何重にも広がるのは、日本との友好の輪が広がるのを見るようで素晴らしいです。私が大東京音頭をやろうと言ったら、ここはパースですと言って「パース音頭」を歌詞・作曲・振付（パース由来の所作）・三味線演奏・レコーディングを含めて2週間で本当につくり上げてしまうのは、さすが地元愛パワーです。来年3月15日のパース日本祭りも楽しみです。去年は1日で2万人（パース人口の約1%）が参加しました。

◇最近豪州で気になっていること：ロットネスト島の自転車数が不足気味なので補充して欲しいです。ANAパース成田直行便が10月14日にあらためて再開となり、今後は年間を通じて運行になりますので、日本からも「世界で最も幸せな動物」クオッカに会いに多数の観光客が来訪されると思います。ネットで見つけたところ、(大谷翔平選手の)真美子夫人もクオッカのファンのようなので、ひょっとしたら。。チャンスはあると思ってます。

◇得意なこと：リエゾン道。間に入って二つの異なる文化をつなぎ、主役となるべき人達に寄り添いながら、その良さを引き出すこと。外交活動のひとつの要素だと思ってます。

◇苦手なこと：業務合理化。スマートに段取りよく合理化できる人を尊敬しています。

◇パースでお薦めのお店：Freshwaters Cafe。スワン川散歩がてら気持ち良いです。

◇ パースの好きなところ：インド洋に沈む夕日とピンクに染まる空がほぼ毎日見れるなど、息をのむ日常離れした瞬間に出会える機会が多いこと。いい具合に都会で、いい具合でカントリーな点は留学生にも人気の理由です。また、人や気候が温かい点。資源エネルギー産業の土地柄からか、実直な熱血漢が多く、屈折したスノビッシュな攻撃型は総体的に少ない印

象です。来年 10 月 5 日～7 日に日豪経済会議が 17 年ぶりにパースで開催されることになったこともあり、多数の方々にパースの良さを堪能して頂きたいと思っております。

◇ パースの苦手なところ：山がないこと。

◇最近、面白かった本や記事:Antony Blinken「America' s Strategy for Renewal」(Foreign Affairs) / 少し古いですが Francis Fukuyama「The Pandemic and Political Order」(Foreign Affairs) は、ウクライナ以降の混乱の大きな流れも予測しており参考になります。／緒方貞子エッセイ「ネルソン・マンデラと「人間性の徹底」」

◇好きな映画：生きる／駅／君の名は（新海誠）／こんにちは、母さん

◇休日の過ごし方：家内と一緒に文化交流行事をはしごしています。パースにも、生き方にかかわるこだわりとして、日豪の架け橋となるような交流活動をされている方々が多数おられるのは本当にありがたいことです。楽しそうな日本との交流の空間づくり、日本の素晴らしさや日本人の輝きが際立つように、楽しみながらお手伝いをしています。